

# 未来



全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中郵支部  
機関紙 「みらい」  
NO. 4217  
22年1月11日(火)  
Tel・Fax 095-828-1953

## 「技術力だけでなく人間力に重きを置く」 こんなトップのもとで働きたい

おはようございます。

長崎県でも新型コロナウィルス感染の再拡大が進んでいます。8日には昨年9月以来となる県全体で32名、長崎市で14名の感染拡大が報告されました。

しばらく感染報告者がなかったこともあり、意識の低下も感じられます。再度予防の徹底を行い、感染拡大を防ぎましょう。



「bizSPA」  
「bizSPA」  
「bizSPA」という『週刊SPA』編集部が運営する、20代ビジネスマン向けのニュースメディアがあります。

1月8日に発信された記事  
「宅配寿司業界で一人勝ち」「銀のさら」、創業社

長が明かす秘訣は「怒らない経営」(取材・文・撮影/中野龍)は、

「銀のさら」江見朗社長に成長の要因を聞いたインタビュー記事です。

宅配寿司「銀のさら」宅配御膳「釜寅」などを展開するライドオンエクспレスは

店舗数700店以上、11期連続で増収を続ける、2001年創業のフードデリバリー業界の大手です。

宅配寿司市場においてNo.1、過半数近くのシェア、と急成長を遂げられた企業の創業社長が、成長の要因は「テクニカルスキル(技術力)」だけではなく「ヒューマンスキル(人間力)」に重きをおいた活動の結果です、と語っています。

新興企業で短期間のうちに過半数のシェアを得た企業という、IT・IAを駆使し人間力に頼らない経営、というのを



想像しがちな中で、人間力に重きを置いた活動の結果、と語る大変興味深い記事でした。

記事では「怒らない経営」と「凡事徹底」という、同社の社員が携帯す

### トップメッセージ 「人として、企業として」正しいことを追求するために

#### 怒らない経営

私たちは「怒らず、恐れず、悲しまず、正直、親切、愉快」をモットーに常に前向きに成長をこころざし、「感謝の気持ちに基づき衆知を集め、すべてを容認し、自他共に正しく導く」という経営指針に沿った活動をしてまいりました。加えて「怒りの感情」は個人及び企業、ひいては人類において一切必要のないものと考え「怒らない経営、怒らない活動」を推進しています。「怒りの感情」は論理性、合理性を破壊し私たちの目標である「幸せ」から遠ざけてしまうからです。また「怒りを我慢するのではなく、怒りの本質(原因)を見つめ、本来怒るべきことなど何も無いことに気づく」ことにより、人は成長し、幸せになることを信じております。「銀のさら」がマーケットで過半数近くのシェアを、極めて短期間で獲得できたコアテクノロジーは「テクニカルスキル(技術力)」だけではなく「ヒューマンスキル(人間力)」に重きをおいた活動の結果です。これからは「怒りの根絶」を目指すと共に、当社理念の方向性が「人として、企業として」正しいことを証明するためにも、常に最善を尽くし、最高の業績を持ってその輪を広げていきたいと思っております。

また社員一人ひとりの「想い」を大切に、そこから生まれる「自発性」こそが、最大の効率を生むという合理性に気付き、一人ひとりが「幸せになることこそが目的」であり仕事はその「手段」である、という本質を見失うことなく、全社一丸となって邁進してまいります。

皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

「銀のさら」ホームページより転載  
江見 朗 代表取締役社長のトップメッセージ(後半部分)

るクレド(行動規範)を基にインタビューがすめられています。

『凡事徹底』とは『誰でもできることを、誰もできないくらい徹底してやる』ことです。

(行動規範)はホームページには掲載されていませんが、同じ意味のことが「トップメッセージ」として掲載されているので、転載する形で紹介(左上枠)します。

江見社長は「感謝の念が足りないから不満を持つ」とも語っています。「怒らない経営、怒らない活動」の推進。「凡事徹底」「感謝の念」等は、私たちが業務に携わる中でも重要な事柄です。

トップの理念が全ての職場に浸透しているかはわかりませんが、正社員の待遇を下げた格差をなくそうとする日本郵政とは大きな違いがあります。社員を大切に、人間力の重要性を日本郵政に理解させ、「労働条件見直し提案」を撤回させることが「22春闘」の課題となります。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。  
期間雇用社員の希望者全員の正社員化を。  
めげず、均等待遇、なげない差別！ ユニオンは労基法裁判に勝利したぞ！